

大学間共通評価観点（大学コンソーシアム佐賀マネジメント会議制定）

		共通評価観点		科目に含める具体的内容	
子ども発達支援士（基礎）	基礎	1	発達障害について自ら学んでいく力	1-1	子ども理解
		2	発達障害のある子どもと積極的に関わりようとする力	2-1	支援者としての自覚や使命感
	小児保健	3	発達障害の特性に配慮した健康の保持及び安全についての理解	2-2	発達障害等のある子どもへの支援に対する意欲
				3-1	子どもの身体発育と発達障害
				3-2	子どもの病気
	心理	4	発達障害のある子どもの行動と心理についての理解	3-3	環境と子どもの健康の関係及び安全
				4-1	子どもの心の発達過程と心の問題
				4-2	発達障害等、障害のある子どもの特性
	教育・保育	5	発達障害のある子どもの障害特性に配慮した教育・保育方法の理解	4-3	発達・心理検査の概要
				5-1	特別支援教育の目的や意義
				5-2	子どもの不適応行動の改善のための指導
	福祉・家族支援	6	発達障害に関する福祉制度や福祉サービスについての理解	5-3	子どもの社会性形成のための指導
				6-1	児童福祉に関する制度やサービス
				6-2	発達に課題のある子どもや家族の困難やニーズ
	子どもに対する支援力	7	発達障害のある子どもの特性に配慮したコミュニケーション力	6-3	幼児・児童虐待などの問題
		8	発達障害のある子どもの特性に合わせて、環境を構成する力	7-1	子どもとの信頼関係
		9	発達障害のある子どもの特性に配慮した遊びを展開する力	8-1	見通しを持つことができ、気持ちを切り替えやすい環境
		10	発達障害のある子どもの教育や保育を振り返り修正する力	9-1	子どものニーズや特性に配慮した支援（遊び等を含む）
子ども発達支援士	チームとしての支援力	11	支援者間で協働する力	10-1	支援実習の記録を記入
				10-2	レフレクションレポートを作成
				11-1	チームメンバーと協力する
				11-2	チームメンバーに自分の考えや意見を伝えたり、他のメンバーの考えに学んだりする
	倫理	12	発達障害のある子どもの個人情報に適切に扱う力	11-3	チームの中や実習先で保護者と協働しながら、自分の役割を自覚する
				11-4	支援者の思いや立場、状況を理解する
				12-1	守秘義務の重要性を理解し、遵守する
	子どもに対する支援力	13	発達障害のある子どもと周囲との関係調整力	12-2	個人情報の扱いについて責任を持つ
				12-3	子どもの最善の利益の保障に努める
	保護者に対する支援力	14	発達障害のある子どもの保護者の思いを理解する力	13-1	子どものニーズにあった支援方法
		15	発達障害のある子どもの保護者と情報交換を行う力	14-1	保護者の思いや立場、状況を理解する
	幼稚園等に対する支援力	16	発達障害のある子どもの発達状況や集団生活から課題を見つけ、対応する力	15-1	保護者に支援の内容やその結果を適切に報告する
				16-1	子どもの状況から、「困り感」や支援ニーズについて考える
		17	他機関との連携を把握する力	16-2	支援目標と子どものニーズとの関係を理解する
	指導計画の作成力	18	個別の指導計画を作成する力	17-1	支援のための連携機関を想定する
				18-1	指導のねらいを立て、課題を設定し、教材を工夫し、評価の視点を設定し、支援の結果を考察する